

令和元年度上半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岩野田児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市粟野東1丁目95番地		
指定管理者名	社会福祉法人 中部学院福祉会		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,039,447円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:1,095.03㎡ ◇延床面積:532.42㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、図工室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

●利用状況

		R01上半期	H30下半期	H30上半期	H29下半期	H29上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	11,397	9,252	12,155	10,209	11,971
	移動児童館利用者数	1,299	1,098	1,378	1,475	1,213
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※29(22)	※23(22)	※25(25)	25	21
	開館日数(単位:日)	155	151	151	151	157

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画通り実施。 ②所長(常勤・児童厚生員)、正規職員(常勤・児童厚生員)嘱託職員2人、非常勤職員2人、学生アルバイト2人 ③おたよ月刊「わくわく」を毎月発行・配布(小学校・公民館・自治会回覧、一部幼稚園・保育園、北部ふれあい保健センター・北市民健康センター、近隣のイベントホール)。イベントポスター(近隣のコンビニ・郵便局・スーパー)、報道機関への情報提供、ホームページへの記載、ブログに写真付きでアップ。指定管理者の広報誌「済美学院報」に児童センターの活動を掲載。岐阜市記者クラブへ情報提供。(マスコミ対策) ④匿名の電話やメール等には臨機に対応。利用者への普段の話しかけにより苦情やニーズを的確につかむよう心掛け、利用者アンケートを実施しその結果を、幼児クラブ等で口頭説明し館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①指定管理者(法人本部)連携のもと適切に実施。 ②日常清掃は毎日実行、玩具は定期的に消毒、破損等の点検を実施。週2回は、就労促進事業清掃班による清掃。 年3回床のワックスがけ・エアコン清掃・ガラス磨きを委託業者に依頼。 ③職員間で節電の意識を持ち、使用してない部屋の消灯、冷暖房節約、節水に努めた。 ④施設、備品等の点検は随時行う。玩具については破損がある場合おもちゃ病院での修理を依頼。屋外遊具の定期点検(年2回)実施。 備品購入・委託事業等は法人の経営する施設と一括することで経費の節減を図っている。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①大規模な修繕(玄関ホール天井・遊戯室等雨漏り・防犯カメラの時刻ずれ・西側門撤去後の直し・建物外壁塗装・遊戯室内柱上部破損・下枠壊れ・2階トイレタイル破損・階段カーペット破れ)については、市に要請を提出。 ②簡易修繕については、指定管理者(法人本部)に相談し行う。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③適切に実施。 個人情報保護・非常災害対策計画を整備し、随時職員間での話し合いを持ち、年3回の利用者を交えた避難訓練を行い、確認しあっている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 令和元年8月14日～9月29日 保護者(一般来館・クラブ参加)にアンケート(無記名)を実施。 回答者数86人 【小・中・高校生用アンケート】 令和元年8月14日～9月29日 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者数100人 小学:1年18人、2年13人、3年22人、4年8人、5年17人、6年12人 中学:1年6人、3年1人 高校:2年1人 無回答2人</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 岩野田北(36人) 岩野田(15人) 常盤(15人) 長良西(7人) 長良(2人) 市外(6人) その他(5人) 【年齢】 10代(0%) 20代(30%) 30代(58%) 40代(7%) 50代以上(5%) 【利用頻度】 初めて(6%) ほぼ毎日(1%) 週2～3回(2%) 週1回(16%) 2週間に1回(12%) 月1回(42%) その他(21%) 【来館相手】 子(95%) 孫(1%) 友人(4%) その他(0%) 【子・孫の年齢】 0才(17%) 1才(31%) 2才(28%) 3才以上(24%) 【来館方法】 徒歩(8%) 自転車(1%) 自家用車(91%) 公共交通機関(0%) その他(0%) 【何で知った】 ホームページ(29%) 広報紙・チラシ(8%) 学校(2%) 保育所・幼稚園(2%) 知人・友人(26%) ぎふし子育て応援アプリ(0%) ソーシャルメディア(0%) その他(33%)</p> <p>【評価】 (あいさつ).....満足(89%) ほぼ満足(8%) 普通(3%) やや不満(0%) 不満(0%) (言葉づかい)....満足(87%) ほぼ満足(9%) 普通(4%) やや不満(0%) 不満(0%) (利用者対応)....満足(87%) ほぼ満足(8%) 普通(4%) やや不満(0%) 不満(0%) 無回答(1%) (利用しやすさ)....満足(67%) ほぼ満足(22%) 普通(5%) やや不満(5%) 不満(0%) 無回答(1%) (整理整頓).....満足(78%) ほぼ満足(20%) 普通(1%) やや不満(0%) 不満(0%) 無回答(1%) (清潔感).....満足(72%) ほぼ満足(19%) 普通(9%) やや不満(0%) 不満(0%) (換気).....満足(74%) ほぼ満足(19%) 普通(6%) やや不満(0%) 不満(0%) 無回答(1%)</p> <p><小・中・高校生アンケート> 【学校名】 岩野田北(60人)、岩野田小(26人)、常盤小(3人)、岩野田中(8人)、その他(3人) 【学年】 小学:1年(18%)、2年(13%)、3年(22%)、4年(8%)、5年(17%)、6年(12%) 中学:1年(6%)、2年(0%)、3年(1%) 高校:2年(1%) 無回答(2%) 【利用頻度】 初めて(1%)、毎日(6%)、週4・5回(10%)、週2・3回(23%)、週1回(17%)、その他(43%) 【来館相手】 ひとりで(19%)、友人(45%)、兄弟姉妹(8%)、父母(20%)、祖父母(1%)、親戚(6%) その他(1%) 【来館方法】 徒歩(24%)、自転車(30%)、自家用車(43%)、バス・電車(0%)、無回答(3%) 【好きな遊び】 ドッジボール(9%)、ボードゲーム(33%)、卓球(7%)、カードゲーム(23%)、バスケット(7%)、バドミントン(5%)、カラム(3%)、キッカーボード(5%)、皿回し(3%)、ディアボロ(2%)、マルチパネハウス(1%)、その他(2%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 ○私からみて、子どもが好きな(使いやすい)おもちゃが多い。ジョイントマットを新しくしてもらえたら嬉しい。 ⇒順に新しくしていきます。 ○年齢とおもちゃの対象年齢がそぐわないものが一部あった。 ⇒具体的にお知らせ頂けると、ご説明させていただきます。 ○おもちゃなどが少し古くなってきてる感じがするので、新しいものが少しでも入れ替わるといいなと思います。 ⇒少しづつ新しくしているのですが、何かご希望があれば、お知らせください。古いおもちゃは消毒をしているので、安心してご使用いただけます。 ○大きい子のいる時の体育館(遊戯室)の使用があぶない。 ⇒小学生はボール遊びが主なので、小さい子は、専用のおもちゃ図書館等であそんでいただくようご理解ご協力をお願いします。 ○ものづくりの時に、工程を少なくしてくれるとありがたいです。 ⇒今後は考慮していきたいと思えます。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	(S)	(SS)	(SS)
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人的育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラブ(2歳児クラス・1歳児クラス)を開催。アンケートの意見が反映するような活動を取り入れ、幼稚園訪問・保育園訪問や遠足(長良公園)を実施した。また父親の子育て応援講座として中部学院大学短期大学部の先生を招いて「パパ友クラブ」を開催。・今年の夏も遊戯室南側屋外に遮光ネットを張り、未就園児に向けてプールあそびを開催。水遊びが出来ないところが多いからと、好評で参加者も多数。 ・0歳児教室は月1回開催。ネットやロコミで広がり、へび・マッサージ・保健師の話等、毎回20組前後の参加があり好評。 ・「ウエルカムホリデー」を開催。こいのぼりアートで親子参加を促す。 ②児童健全育成 <ul style="list-style-type: none"> ・「ウエルカムホリデー」を開催。制作(オリジナル缶バッジ・レインボーぶんぶんコマ・ブーメラン・くるくるへび・牛乳パックコマ)を中心に長期休みを過ごせるように配慮。 ・「子ども運営委員会」を開催。「スライム遊び」「お菓子作り」「鬼ごっこ(バナナ鬼・氷鬼・色鬼)」「ハロウィン」「クリスマス会」等意見多数。すぐにできるもの「ハロウィンお菓子作り・スライム遊び・クリスマス会」等は取り組む。 ・「児童センターでカレーを作って食べよう」、呼びかけに28人の児童が集まり参加。野菜を切ることから興味を持ち、美味しく食べることが出来た。(豚コレラの件で、野外活動の自粛要請があったので) ・平日の放課後、宿題持参が普及してきたので、環境を整える。 ・「宿題追い込みルーム」も恒例となり、担当校区が2期制となり、学校の宿題提出日に間に合うようにと、日にち設定をする。 ・小学生ボランティア隊「V・わくわく隊」の活動として、高齢者施設訪問や夏まつり(きもだめし・コーナー遊び)の準備を手伝う。また館内の飾りつけをし、まつりを盛り上げていた。高齢者施設訪問は期待要請があり実施。大いに喜ばれる姿に触れ、児童にとってこの時期の良い経験であると再認識。 ・入館カード記入時に荷物(特に自転車の鍵)を預かり、忘れ物等無いように声掛けを徹底している。また、緊急時に備えての連絡先電話番号記入も徹底して行うようにしている。忘れ物があった場合すぐに連絡し、早めに取りにきてもらう。 ③広域的な広報活動として、積極的に新聞・テレビなどマスメディアに情報を提供。 <ul style="list-style-type: none"> ・「宿題追い込みルーム」についてはテレビ・新聞の取材が入る。 (NHKテレビ8・22放映、CBCテレビ8・22放映、中京テレビ8・22放映) (中日新聞・岐阜新聞 8・23付け掲載) ④地域活動 <ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり(流しそうめん)を地域母親クラブの協力を得て行う。 ・夕涼み映画会を、夏休み最後のイベントとして行う、今年は夕方5時より遊戯室で開催。夕方に児童センターに来られるわくわく感もあり、好評。 ・放課後児童クラブからの指導要請により、岩野田小校区・三輪北小校区・常磐小校区へ制作指導に出向く。また常磐小放課後児童クラブ・合渡小放課後児童クラブへはウノ指導に出向く。 今年度は岩野田小インリーダーからの要請もあり制作指導を行う。 ・放課後等デイサービス事業者と連絡を取り来館利用。昨年度より回数も増え来館児童との交流も。 ・岩野田小学校PTA行事(1年生・2年生)親子ふれあい行事を行う。
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学休日に開設している「ランチルーム」を幼児親子にも使いやすく、シートを敷く等対応。また今年度より、アンケートでの意見を取り入れ、幼児クラブ開催日等にもランチルームを開設。 ・「放課後児童クラブ」への遊び指導の要請が広がり(岩野田小校区・三輪北小校区・常磐小校区)へ制作指導に行く。・常磐小校区・合渡小校区へは、ウノ指導に行く。 ・平日の宿題持参も気軽に出来るようになり、環境を整える。 ・幼児クラブでの幼稚園・保育園訪問の要望に応え実施、園児との交流をする。 ・父子対象「パパ友クラブ」を、日曜開催することにより参加増加を図る。 ・駐車場が分かりにくいとのご指摘に応え、案内看板を取り付け予定。 ・地域の母親クラブの協力を得て、「夏まつり」(流しそうめん)を開催。 ・運営委員会での意見を受け、月刊「わくわく」3小学校配布、自治会回覧に加え、北市民健康センター・北部ふれあい保健センターにも配布を依頼。 ・おもちゃが片付けにくいとのご意見に対して、棚に写真を貼り付け片付け場所がわかりやすいよう配慮した。 ・避難訓練は重要課題と捉え、来館自由な児童館で、臨機に対応できるよう、最低でも年3回は取り組む。災害対策として、避難場所への誘導訓練も行った。
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師(特に中部学院大学・中部学院大学短期大学部との連携)の関係をさらに深め、子育て講座の取り組みを強化していきたい。 ・児童の学休日に開設している「ランチルーム」を幼児クラブ等後の利用も普及させ、利用増進を促す。 ・放課後児童クラブへの働きかけも引き続き行い、要請を受けていく。 ・小学生ボランティア隊「V・わくわく隊」の活動、特に「高齢者施設訪問」は地域でも期待されているので、今後も続けていく。 ・利用者アンケートでの意見を尊重し、業務改善や利用促進の貴重な意見と捉え、実行可能なことには即取り組み、考慮が必要なものについては、各機関と相談の上、進めていく。 ・避難訓練は重要課題と捉え、来館自由な児童館で、臨機に対応できるよう、最低でも年3回は取り組む。災害対策として、避難場所への誘導訓練も引き続き行う。 ・来館者(特に初めて来館の方)には丁寧に接し、わかりやすく児童センター利用の説明をし、楽しく過ごしてもらえよう、細心の気配りをする。 ・担当小学校との連携を密にし、要配慮児童についての情報を共有する。 ・要配慮乳幼児親子については、「子育て支援地域連携会議」との連携を図り対処する。

●所管課の意見

- 毎月発行する児童センターの広報紙「わくわく」を、担当地区の3小学校、公民館、保育所、市民健康センター、ふれあい保健センターに配布、自治会に回覧したほか、ホームページに掲載した。また、児童センターのイベントポスターの掲示及びチラシの配布を児童センター内だけでなく、小学校、近隣スーパーやコンビニ、郵便局、高齢者施設等をお願いしたほか、テレビや新聞等のマスコミを通じてイベント情報が取り上げられるなど多くの媒体を利用し、積極的に児童センターの情報提供に努めた。
- 移動児童館について、上半期29回開催し、年間目標数値の24回(平均月2回)を現時点で達成しており、下半期も引き続き実施していただきたい。
- GWの10連休を利用して様々な制作を行うことができる「ウエルカムホリデー」を開催し、利用者が楽しく過ごすことができるように努めた。
- 小学生自主ボランティア隊「V・わくわく隊」による高齢者施設への訪問や、「わくわく夏まつり」では地域の母親クラブの協力を得て流しそうめんを行ったり、きもだめし・コーナー遊びの準備、館内の飾りつけを行うなどして、地域とのつながりをより深化させた。
- 熱中症や度重なる台風への適正な対応によって、大きな事故が発生しなかったことを評価したい。また、今期は災害に対するマニュアル作成に尽力されたことにより、今後施設としての災害への認識や適応力の高まりに期待したい。
- 職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。

●指定管理者評価委員会の意見

移動児童館の年間目標数値を大幅に超え、そのほとんどが施設未設置地区で行われていることを高く評価する。「宿題追い込みルーム」など、これまでも行ってきた行事を丁寧に継続しているところに好感が持てる。今後も続けてほしい。小学生ボランティアの活動として、高齢者施設を訪問することも恒例となってきた。今後はその企画等から小学生が主体的に参加し、その視点や意見などを生かしてほしい。

管理運営は適正に行われており、良好と認められる。